

特徴

(触媒酸化装置、直接燃焼装置、蓄熱燃焼装置)燃焼装置

排気ガス中のVOCやその他成分を解析し、弊社の燃焼知見を活用して、最適な燃焼装置を選定致します。また、より低ランニングなシステム(濃縮装置との組合せ等)をご提案致します。

触媒酸化装置(TC型)とは

- 触媒を採用する事で、比較的低温(～450℃)でVOCを酸化分解できます。
- 比較的、燃料費が安く経済的。電気熱源の使用が可能。
- 触媒毒(有機シリコン)含有の場合は適用困難な場合もあります。

直接燃焼装置(TB型)とは

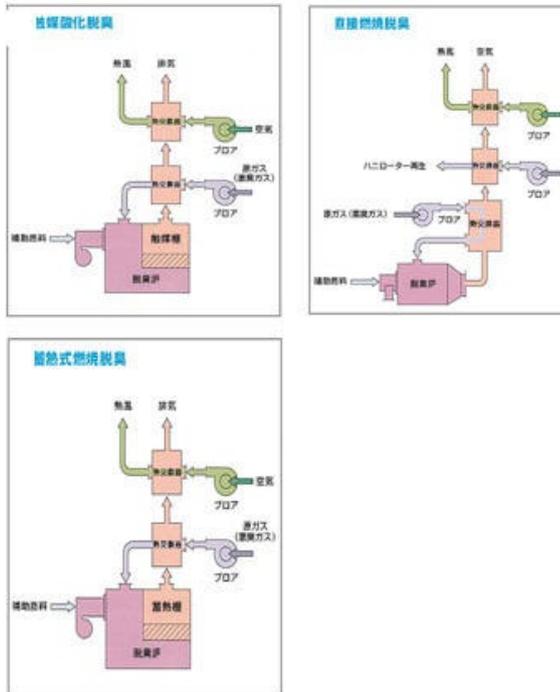
- 700～900℃の高温雰囲気下にて酸化分解させます。
- 完全燃焼すれば高効率の処理が可能で、タール、粉塵への許容性が高い。

蓄熱燃焼装置(RTO型)とは

- 蓄熱材にて95%以上熱回収を行い、排気を800～900℃にて酸化分解処理させます。
- 熱回収率が極めて高く、ランニングコストが安い。
- 完全燃焼すれば高効率の処理が可能。

特徴

(触媒酸化装置、直接燃焼装置、蓄熱燃焼装置)燃焼装置



高効率で廃棄物の発生を大幅に削減できる酸化分解装置を提供致します。

3種類の燃料装置からガスの仕様に合わせて最適な装置を提案致します。

1 高効率処理

弊社データベースに基づき、触媒、滞留時間、反応温度を設計し高効率処理をします。

2 2次公害の少ない処理

完全燃焼を目指しています。乾式処理のため廃棄物が微量です。

東洋紡はK-FILTER[®]やハニローター[®]による溶剤・臭気の吸着処理(回収・濃縮)をエコロジーニーズに応じて多数販売してまいりましたが、更に高効率でしかも廃棄物の発生を大幅に削減できる酸化分解装置を組み込んだシステムも提供することになりました。

3 高度な分析技術

触媒毒などの処理機能を損う微量物質については、弊社独自の高度な分析技術を蓄積しています。

触媒毒の事前確認から設備導入後の触媒寿命診断まで一貫してサポート致します。

4 高い経済性

VOCを濃縮するハニローター[®]やKマットロール[®](濃縮装置)と組み合わせると処理風量が減少し、且つ濃縮装置の再生熱源や米津に排ガスを活用します。

5 安全性重視設計

バーナー・ヒーターは実績のあるものを選択し、自動運転動作の選択を最大重視しています。

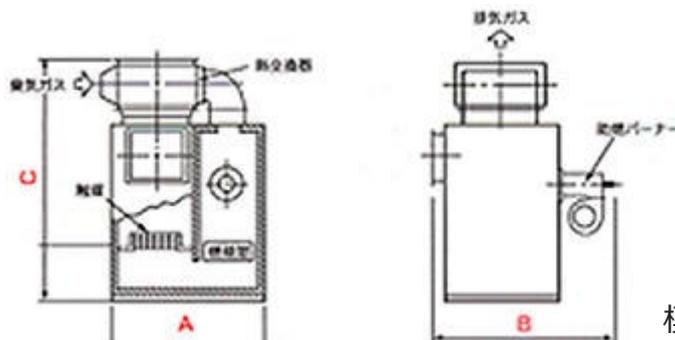
処理性能例

(触媒酸化装置、直接燃焼装置、蓄熱燃焼装置)燃焼装置

物質名	タイプ	風量	除去率%
		m ³ /min	
IPA他	直接燃焼	300	98<
酢酸ブチル他	触媒酸化	50	98<
PGME、PGMEA他	直接燃焼	150	98<
MEK、メタノール 他	直接燃焼	70	98<

(触媒酸化装置、直接燃焼装置、蓄熱燃焼装置)燃焼装置

触媒式脱臭炉



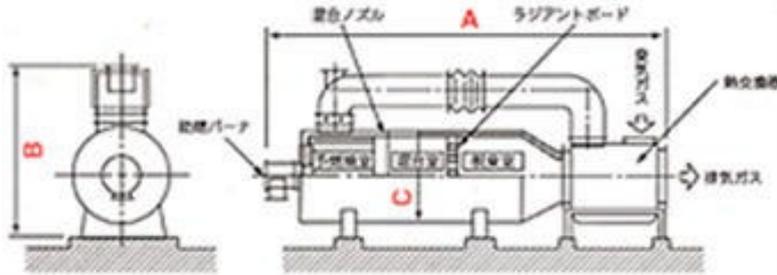
模型炉も製作いたします。

型式	処理ガス量 m ³ N/min	A	B	C
TC-020	20	1,290	1,850	2,920
TC-030	30	1,370	2,050	3,120
TC-050	50	1,450	2,200	3,260
TC-070	70	1,670	2,350	3,515
TC-100	100	1,750	2,550	3,825
TC-150	150	1,980	2,840	3,980
TC-200	200	2,150	3,140	4,450
TC-300	300	2,450	3,800	4,650
TC-400	400	2,750	4,200	4,705
TC-500	500	2,850	4,600	5,210

ラインアップ

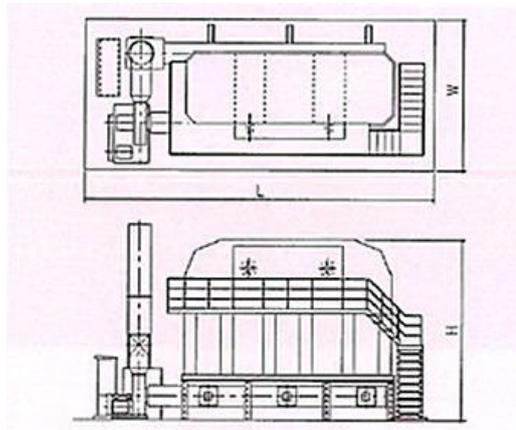
(触媒酸化装置、直接燃焼装置、蓄熱燃焼装置)燃焼装置

直接燃焼式脱臭炉



模型炉も製作いたします。

蓄熱式燃焼装置



処理風量 m ³ N.min	必要熱量 kW	寸法表(mm)			重量 Ton
		L	W	H	
15	17.5	4,200	2,100	3,600	4.7
30	33.7	5,500	2,350	4,000	6.5
50	57	6,100	2,900	4,650	8
100	112.8	8,900	3,300	6,000	19
200	226.7	11,000	4,600	6,200	33
300	339.5	12,500	5,800	6,600	45
500	556.3	14,500	7,100	7,000	74
750	850	18,000	8,300	7,200	100
1,000	1,132.5	19,000	9,200	7,400	120